

金ヶ崎町交通指導隊での功績により、岩手県知事表彰（※）を受賞した長嗣さん。



金ヶ崎町の交通安全への意識が高まってほしい



たかはし ちょうし
高橋 長嗣さん（72歳）

上百岡在住

金ヶ崎町交通指導隊に38年間在籍。平成18年4月から同隊の副隊長、令和元年6月から隊長を務め、隊員の指導育成に尽力した。趣味は学生時代から続けているトロンボーン、サクソフォーン。妻と2人暮らし。

金ヶ崎町交通指導隊員として、38年間活動してきた長嗣さん。今年3月で同隊を勇退した。

38年前に知人に誘われ興味を持ち、見習い期間を経て、昭和61年1月から金ヶ崎町の交通指導員に任命された。当時は現在ほど道路事情も良くなり、交通指導に携わる警察官も多くないこともあり、全国で子どもたちの交通事故が問題となっていた時期であった。自転車指導する際は、『走り出しが一番危険。後方確認を徹底して安全運転を心がけよう』と声をかけ続けた。

幼稚園、保育園、小・中学校での交通安全教室の指導をはじめ、長年の交通指導隊の活躍もあり、町民へ交通安全の意識付けが確実に行われている。任命された頃は町の行事以外でも声がかかり、いろいろな場面で活動したと振り返る長嗣さん。春秋の金ヶ崎神社の行事の際に、交通誘導したことが特に印象に残っていると懐かしむ。

1年間無事故で警察から表彰される際は、自身や隊員の苦勞を思い浮かべ感慨深くなった。また、毎朝子どもたちが元気に挨拶してくれたのが、とてもやりがいになっていたという。

長年の功績により8月21日に知事感謝状が授与され、「一人に恵まれ、38年間無事に終えることができた。これからの隊員たちには、自分が事故にあわないように安全な場所を確保したうえで、活動することを忘れないでほしい」と笑顔で話してくれた。

※ 25年以上精勤し退任した交通指導員で、活動が優秀で他の模範と認められる人に贈られる。

広報日記



数年前に祖母に貰った小さいサボテンを家の玄関で育てていますが、夏場は少しの肥料と水だけでとても元気です。猛暑日は人間だったらこうはいかないよなあと思いつつ手入れをしています。花きセンターの元職員の方から育て方のコツを教えてもらい、少しずつ改良を加えました。

ところが雨の日に愛犬を散歩させた際に、興奮したのか犬がサボテンの鉢をひっくり返してしまいました。幸い犬もサボテンも無事でしたが、置き場所には注意しないといけませんね。反省でした。私もサボテンのようにどっしりと構えて生きていきたいと思いますが、棘がある人にはならないように気を付けます。（千葉）

人口と世帯		8月31日現在	
		※（ ）内は前月比	
人口	15,122人	(+ 25)	
男	7,756人	(+ 2)	
女	7,366人	(+ 23)	
世帯数	6,470世帯	(+ 38)	